

南アルプスが臨める甲府盆地北側の低山ハイク
興因寺山～湯村山

実施日 2016年3月13日(日)
天候 曇り時々晴れ
リーダー 白石 恵美子
参加者 涌井良明、伊藤久雄、石原勝正、白石佐恵、白石恵美子 計5名
費用 2,980円(JR,高尾起算) 車660円 計3,860円
タイム 穴口(10:00-10:13)ツク坂10:15 興因寺山(10:35-10:43)淡雪山(11:10-11:20)金子(きんす)峠11:29休憩(12:00-12:25)昼食)中峠12:34 あずまや(13:35-14:10)湯村山(15:15-15:25)湯村温泉入口BS(15:58-16:09)

タクシーの下車後、本日の少数精鋭部隊(?)5名、身支度をして歩き出す。「淡雪山」という道標に従い、いきなりの急登に入るが、間もなく送電鉄塔が見え、



あっという間に興因寺山の山頂に着く。甲府盆地の向うに南アルプスが見える。

再び「淡雪山」の標識に従って歩くと甲斐駒ヶ岳、鳳凰三山が臨める。更に行くとも、間ノ岳～農鳥岳の稜線。淡雪山は山頂の標識がなく、どこが山頂なのかははっきりわからないうちに過ぎてしまい、「ガイドブックに『白砂青松の世界』と書いてあるけど、それほどでもないわね」とか「『岩場あり』って書いてあるけど、岩場ってほどでもないわね」などと話しながら歩いて暫く行くと、その先に、正に「白砂青松の世界」が広がり、その眺望を楽しむ。甲斐駒とも再会する。



10分程で某宗教法人の建物のすぐ近くを通過して、金子峠(標識あり)に降り着く。ガイドブックには「きんすとうげ」とふりがなが振ってあるが、「これはどう考

えてもかねこ峠だよな」などと言いつつ。すぐ横の駐車場の手前の左に入る急な道を登る。



725m峰以降は倒木が多く歩きづらい。和田峠の手前で道を間違えて10-15mくらい、木を掻い潜りながら急斜面を下ったところで、これから行くべき車道が見えたが、川が行く手を阻み、渡れそうもないので、戻った方がいいだろうとの判断により戻る。

W氏曰く、右へ行くべきところを、左に流されて来てしまったとのこと。

千代田湖に出てからは、白山(しろやま)への道を登る筈だったが、千代田湖には出ずに、もう少し左へ行ってしまったのか(?), 少しルートは違ったが、千代田湖を見下ろせる花崗岩のピークに着く。東屋で展望を楽しみながらのココア



タイム。白山八王子神社を経て、湯村山へと向かう。湯村山には昔、武田信虎が湯村山城を築いたとのこと。東屋やそ

の近くに、当時の井戸跡、地蔵古墳もある。さて、本日のリーダーの東屋の下での迷台詞、「ヤマレコに東屋があるって書いてあったけど、どこかしら?」。W氏「おいおい、しっかりしてくれよ!」

本日の教訓、間違えたと思ったらすぐに今来た道に戻ること、里山などでは特に、後に来る登山者の為だけでなく、迷った時に来た道がわかるように、赤いビニールテープを要所要所に貼りながら歩く。今日の山はマイナーな低山ながら、南アルプス他の眺望も素晴らしく、日本庭園のような白砂青松の景色も見られ、なかなかの山だと自画自賛。参加して下さった皆さん、お疲れ様でした。また一緒に歩いていただけたら嬉しいです。



行動 5時間45分/歩行 4時間7分
(記・白石 恵美子)
(写真提供・涌井良明/石原勝正)